

野生鳥獣 アライグマに注意!

「かわいい」と思っていませんか?

→ 実際は、有害鳥獣です
農作物や家屋が被害に遭うことも……。

令和3年度、朝倉市ではアライグマの捕獲数が150頭を超えました。アニメなどの影響で、「アライグマはかわいい」と思っている人もいるかもしれませんが、しかし、アライグマは本市の有害鳥獣に指定されており、これまで農作物や家屋が被害に遭うことも、一度や二度ではありませんでした。

ここでは、今、朝倉市に起こっているアライグマ被害や、個人でできる対策などをお伝えします。皆さんの生活を守るため、役立ててください。



▶ アライグマはどう猛で気性が荒く危険です

一見タヌキと似ていますが、アライグマは額から鼻筋にかけて黒い線があり、尾が長く、しま模様があります。指は5本。手足のつくりが人間と似ているため、足跡も人の手形に似ています。幼獣の頃は小さくて愛らしく、人にも慣れることがあります。成獣になると、どう猛で気性が荒くなります。人間にとって、危険な生き物です。

■ **食べるもの**…雑食性で、穀物や野菜、果実をはじめ、魚や動物の死骸なども食べます。ドッグフードやパンや唐揚げ、お菓子なども好みます。人間の生活圏で生ゴミを漁ることもあります。

■ **住むところ**…ダム周辺などの水辺、森の中や原っぱの他、田畑近くの水路、神社や寺、家の屋根裏、物置、廃屋などにもすみ着きます。暑さ寒さに強いので、どこにでもすみ着くことができます。

■ **繁殖**…一夫多妻制で、1匹のメスは1年に1～6匹の子どもを産みます。さらに、日本には天敵もいないため、個体数をどんどん増やしていきます。

▶ アライグマが引き起こす3つの被害

① 農作物を食い荒らす

収穫時期を迎えた野菜や果物が狙われています。手先が器用なため、畑に侵入して木やパイプを登ったり、作物を持ち出したりもします。市でも、ブドウや梨、桃、スイカなどの作物が多数、被害に遭いました。



② 人が住んでいる家の屋根裏にすみ着く

「屋根裏から足音がする」、「天井から動物が落ちてきた」などの連絡が市に寄せられ、確認に行くとアライグマだったという事例がありました。アライグマが屋根裏にすみ着くと、そこでふん尿をし、天井に染みができたり、強烈な悪臭がし

たりするなど、大変な被害になります。

③ 感染症を引き起こす

アライグマの中には、「人獣共通感染症(人にもうつる病気)」を持っている個体もいます。具体的には、狂犬病、アライグマ回虫、レプトスピラ症など。特に人が狂犬病を発症した場合、致死率はほぼ100%といわれています。

▶ アライグマに負けないために個人ができること

□ 見つけても触らない

危険な感染症を持っていたり、ダニやノミが付いていたります。

□ 餌付けになるようなことをしない

意図的に餌を与えるのはもちろん、家庭の生ゴミを表に出したり、畑作業でのゴミを外に置いたりすることも、餌付けになります。一度エサ場と認識されてしまうと、その場所に執着し、頻繁に来るようになります。

□ 侵入経路をふさぐ

屋根の隙間や家の壁がはがれていたところから家の中に侵入して、すみ着いていることがありました。アライグマが入れそうところがないか、家やビニールハウスなどを点検し、侵入口になりそうところがあれば、ふさぐ対策をしましょう。



▶ その他注意すること

- ・アライグマは、法律で「特定外来生物」に指定されているため、飼育などをする事は禁止されています。
- ・アライグマは無許可で捕獲することができません。

市では、アライグマ被害対策として、アライグマの捕獲を行っています。農業被害や家屋侵入によりお困りの場合、下記までご連絡ください。

問 市農林課 (☎ 28-7864)